栃木 会議所ニュース

ホームページ http://www.tochigi-cci.or.jp/ Eメール tcci@t-cnet.or.jp

No.643

毎月１回10日発行
発行所
栃木市片柳町2－1－46
栃木商工会議所
TEL (23)3131㈹
FAX (22)7550
印刷所 日ノ出印刷㈱
定価 1部100円

会員の購読料は、会費に含まれています。

迎春 2021年 会頭あいさつ

栃木商工会議所
会頭 荒金 憲一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、令和3年丑年の新年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は、一昨年に会頭に就任以来、先達の方々が築いてこられた古き良き歴史・文化を大切にしながら、多様な分野での生産性の向上、業種の拡大、そしてイノベーション（変革）による新たな挑戦を求めました『令和ルネサンス』のテーマのもと、事業の推進を図ることを考えてまいりました。

しかし、昨年1月に新型コロナウィルス感染症が発生して以来、国、県及び市などの事業はもとより、当所で予定しておりました多くの事業が中止に追い込まれる中、いまだコロナ禍の収束の気配は見えず、昨年末からは更なる感染の拡大も危惧されている状況であります。

その間、わが国の経済は、コロナ禍により多くの人々の社会生活・活動が自粛志向に向かうことによって、多種・多様な産業において厳しい環境におかれております。

また、生活環境においては、今回のコロナ禍への対応を契機として国からは新たな生活様式での行動指針が出されるなど、社会並びに経済活動の多くの部分で例のない変化が起こっている状況であります。

このような中、わが国が力強い経済を取り戻し、更なる持続可能な経済成長を牽引するためには、地方都市の均衡ある発展や雇用の創出等に寄与しております中小・小規模事業者の活性化が必要かつ重要であります。

このため、国などではGoToトラベル、GoToイートなどの取り組みに併せ、本市では中小商業者の経済支援とともに市民の生活支援を図るために、30％のプレミアを付した総額5億2千万円の「栃木市プレミアム付商品券」を当所と市内5商工会により構成された栃木市商工経済団体連絡協議会にて発行事業を実施し、完売されましたことから、消費拡大に大きく寄与するものと期待しております。

さらに、国では、脱炭素化や中小・小規模事業者の事業再編などの経済構造の転換への取り組みや、防災・減災に向けた国土強靭化への推進などに対しまして、強力に後押しを図ろうとしております。

私たち事業者も社会経済の動向を注視し、昨年1年間の厳しい経済環境における経験を糧として本年に活かすためには、事業への積極的な考えをもって取り組むことも必要ではないかと考えます。

そのひとつには、改めて今回のコロナ禍により、世界に比べてわが国のデジタル化の遅れが浮き彫りになったことから、デジタル化への流れを加速させることが鮮明になってきております。

私たち事業者にとりましても、デジタル化・効率化への流れを精察しつつも、積極的に取り組みを進めるとともに、併せて国・県及び市等にデジタル技術による経営効率化に対する支援をお願いしてまいります。

また、中小・小規模事業者へのコロナ感染症や災害などに対する対策強化と事業継続の支援を図るため、BCP策定支援や事業継続力強化計画認定支援、及び各種補助申請支援につきましても行政機関・関係支援機関等と連携を強化し、積極的に推進してまいります。

併せまして、少子高齢化の進展による雇用問題の深刻化や働き方改革の取り組みなど、中小・小規模事業者を取り巻く環境は厳しさを増しておりますことから、多様な人材の育成や円滑な事業継承、新事業の展開、及び健康経営の推進に向けた支援などについても積極的な取り組みを考えてまいります。

さらには、国土強靭化を図る上でも本市が被りました水害からの円滑な復興・復旧の推進など、各種事業の取り組みを図るとともに、各会員事業者が力強く活力をもって事業が推進できますよう支援・協力をさせていただきたいと考えております。

然して、令和4年7月には当所の創立130年目を迎えることになります。関東で3番目に設立されました当所において先達の皆様が残されてきました偉功に新たな歴史を刻むことになります。本年は130周年記念を祝するための準備を進めたいと考えております。

今後とも、地域経済の発展のため積極的に活動してまいりますので、会員事業所の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員事業所の皆様の益々のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のあいさつといたします。

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願いいたします

（敬称略）

会頭

荒金憲一
ケーブルテレビ㈱　取締役会長

副会頭

若菜秀夫
㈱アスワン　代表取締役会長

茂呂章
金朝商事㈱　取締役会長

小野口美治
小野口商事㈱　代表取締役社長

膝附武男
ひざつき製菓㈱　代表取締役

常務理事

國保能克
栃木商工会議所

常議員

坂本邦男
坂本産業㈱　代表取締役会長

津布久茂
㈱ニッコークリエート　代表取締役社長

財田忠典
㈱ヤオハン　代表取締役社長

早乙女勇
㈱上原園　代表取締役会長

小又正和
小又工業㈱　代表取締役

松本稔
松金化学工業㈱　代表取締役

塚田和克
㈱ツカダ　代表取締役

小池雅弘
㈱スクラムフーズ　代表取締役社長

松田美智也
㈱関東エコリサイクル　代表取締役社長

茂木広至
茂木機工㈱　代表取締役

渡邊嘉一
ワタレイ㈱　代表取締役社長

長澤厚史
㈲ナガサワ　代表取締役

小藤有彦
㈱小藤製作所　代表取締役

板倉勇作
㈱板倉製作所　取締役会長

田島大
栃木市商店会連合会　会長

柳川延夫
栃木ガス㈱　取締役社長

大橋重信
㈱栃木銀行栃木支店　支店長

青木日出光
㈱群馬銀行栃木支店　支店長

山口輝
滝沢ハム㈱　常務取締役管理本部長

片柳均
㈱セレモール　取締役会長

五十嵐学
㈱足利銀行栃木支店　支店長

中里武司
㈱みずほ銀行栃木支店　支店長

議員

伏木昌人
栃木信用金庫　理事長

大阿久岩人
㈱柏倉温泉太子館　会長

土谷一郎
㈱土谷龍治郎商店　代表取締役社長

若林芳明
栃木グランドホテル㈱　取締役会長

大澤光司
㈱メディカルグリーン　代表取締役

柏﨑和己
㈲栃木地区浄化槽公社　代表取締役社長

栃木孝夫
栃木木材㈱　代表理事

松倉敬士
栃木乳業㈱　代表取締役

青木紀郎
栃木アンカー工業㈱　取締役副社長

猿山貴
岡田石灰工業㈱　常務取締役

特別顧問

前会頭
大川吉弘

相談役

元副会頭
田村佐重

元副会頭
永山清助

前副会頭
笠原孝之

前副会頭
大木和

前副会頭
小田垣俊郎

監事

藤沼康雄
関東信越税理士会栃木支部　相談役

嶋田完治
シマダ㈱　代表取締役

田邉勇輝
タナベ労務管理事務所　代表

議員

福田昌弘
日ノ出印刷㈱　代表取締役社長

平野和正
㈱正和　代表取締役社長

岩下和了
岩下食品㈱　代表取締役社長

森戸忠広
森戸運送㈲　代表取締役

寺内治雄
㈱共同プロ保険事務所　代表取締役会長

森川武
㈲森川自動車　会長

福富正浩
福富税務会計事務所　所長税理士

伊藤和博
伊藤電機㈱　代表取締役社長

癸生川照男
㈱栃木県南自動車学校　代表取締役社長

古谷清岳
舘野建設㈱　代表取締役会長

荒川光男
㈱荒川建設　代表取締役

田名網文男
㈱明治フード　代表取締役

関口佳市
関口商事㈱　代表取締役

小林雄一
㈱小林縫製工業　代表取締役社長

佐々木浩
栃木冷暖工業㈱　代表取締役

小島峰夫
栃木陶器瓦㈱　代表取締役

八木原清二
㈱アサヒドー　専務取締役

大木敬
㈱大木組　代表取締役社長

落合希好
落合産業㈱　代表取締役

毛塚敏郎
㈱毛塚紙店　代表取締役

佐山謙三
㈱佐山　代表取締役社長

斎藤卓司
ジャパンソルト㈱　常務取締役

須田尚男
須田商事㈱　代表取締役

谷中俊太郎
大正紙器㈱　代表取締役社長

田村義弘
㈲田村自動車整備工場　代表取締役

横地克孝
㈱栃木こすもす　代表取締役

山本昌邦
栃木レザー㈱　代表取締役

別井晃男
㈱別井商店　取締役会長

松本篤哉
両毛印刷㈱　代表取締役

岸重信
サントリースピリッツ㈱梓の森工場　工場長

井上徹
日立グローバルライフソリューションズ㈱
冷熱家電本部シニアテクニカルアドバイザー

西畑圭樹
㈱西畑建材店　代表取締役

川嶋幸雄
㈱タスク　名誉会長

２０２１年 年頭所感

～逆境のときこそ、力を尽くす～

日本商工会議所
会頭　三村明夫

明けましておめでとうございます。

２０２１年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

さて、昨年1月にわが国で初めての新型コロナウイルス感染者が報告されてから、早くも1年が経とうとしています。コロナ禍にあっても、今なお必死に経営努力を続けておられる皆さまに深く敬意を表するとともに、われわれ全国５１５の商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまと地域経済の発展のために力を尽くしてまいります。

さて、わが国経済全体は、緊急事態宣言が発令された昨年４～６月期のＧＤＰがリーマンショック時を超える戦後最大の落ち込みを記録した後、７～９月期には持ち直しの動きへと転じました。しかし、秋以降に再び感染が拡大する中、その後の回復に向けた足取りは依然として重いままです。

一方、コロナ禍を通じて、政府・民間を含めた国全体としてのデジタル化の遅れ、過度な大都市集中のリスクと適切な地方分散化の必要性、危機下における医療提供体制のあり方、中央と地方の権限分担のあり方など、日本の多くの課題が浮き彫りとなりました。また何よりも「強く豊かな国でなければ国民を守れない」ということに皆が気付いたのではないでしょうか。激甚化する自然災害、新たなパンデミック、地政学上の混乱等は今後も起こり得るものであり、わが国がそのような不確実性の中を生き抜いていくためには、不確実性を吸収できるバッファとしての「戦略的ゆとり」が不可欠であります。

昨年の菅政権発足以降、私は政府に対してこの「戦略的ゆとり」を持つ必要性、またそのためにも経済成長が欠かせないものであることを訴えてきました。経済成長は労働投入×資本投入×全要素生産性で定義されます。これまでの深刻な人手不足の中で、女性や高齢者など労働参加が大いに進みました。しかしさらなる労働参加率の向上には限界があり、将来不安により消費が伸び悩む中では国内での新たな設備投資による資本蓄積も多くは望めません。従って、わが国の経済成長のためには、残る「生産性の向上」が必須なのです。

一国の生産性は「一人当たりＧＤＰ」で表されますが、日本は２０１８年時点で世界第31位に甘んじています。「一人当たりＧＤＰ」は国民一人当たりの豊かさだけでなく、効率的に働き得られた余暇を人との繋がりに充てることで、幸福度を向上させる指標にもなることから、私はこれを日本の新たな国家目標に据え、その引き上げのために皆で知恵を絞り、汗をかくべきだと考えます。

日本全体の生産性向上のために、商工会議所は、以下の３点に取り組んでまいります。第一は、コロナ禍への対応支援です。環境変化に対して、柔軟に素早く対応できることが中小企業経営者の強みであり、コロナを契機として新製品やサービス開発、業態転換、ＥＣ等も活用した国内外への販路開拓などに積極果敢に挑戦する経営者を、しっかりと後押ししてまいりたいと思います。

第二は、デジタル化を通じた生産性向上です。コロナ禍で初めてテレワークを体験し、デジタル技術の有用性に気付いた経営者も多いと思います。また、国や地方公共団体が今後デジタル化を進める中で、民間企業側もそれに対応していく必要があります。まずは身の丈に合った、低コストで利用可能なＩＴ導入から始め、徐々にステップアップするなど、ＩＴ導入補助金等の支援策もフル活用し、中小企業のデジタル化を推進してまいります。

第三は、取引適正化です。大企業と中小企業が強固に結び付いた日本経済の強さは、大中小の石が組み合わさって風雪に耐える「石垣」に例えられてきました。しかし、その石垣も修復、再構築する時期に来ています。サプライチェーン全体のデジタル化により効率性を高め、コストアップや付加価値をフェアに分け合い取引価格の適正化を図る「大企業と中小企業の新たな共存共栄関係」の構築が必要です。商工会議所は、この趣旨に賛同した企業による「パートナーシップ構築宣言」の宣言企業が１、０００社を超えるよう、積極的に後押ししてまいります。

加えて、本年いよいよ開催が見込まれる東京オリンピック・パラリンピックを、復興五輪であると同時に、感染拡大防止と社会経済活動を両立させる具体的なプロジェクトとして位置付け、国民運動を盛り上げていきたいと考えております。

最後に、近代日本資本主義の父であり、東京商工会議所初代会頭の渋沢栄一翁は、関東大震災の混乱の渦中にあっても「逆境のときこそ、力を尽くす」自らの信念によって、晩年にあってなお、わが国を立て直すべく精力的に奔走されました。渋沢翁の意志を受け継ぎ、今年も日本商工会議所は全国のネットワークを最大限活用し、中小企業と地域の発展、日本経済の再生に向けて、先頭に立って頑張ってまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願いし、私の年頭あいさつとさせていただきます。

令和3（2021）年 新年あいさつ

栃木県知事
福田富一

商工会議所会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

昨年の知事選挙におきまして、多くの皆様から御支援をいただき、引き続き県政を担わせていただくこととなりました。県内各地で皆様の切実な声やふるさと〝とちぎ〟に対する熱い思いをお伺いし、改めてこれからの県政を担う責任に身が引きしまる思いであります。今後とも、「県民中心」、「市町村重視」を基本にしつつ、「地域重視」の視点やデジタル化の動きも取り入れながら、スピード感を持って県政の課題に果敢に取り組んで参る決意であります。

さて、世界に拡大した新型コロナウイルス感染症は、あらゆる社会経済活動に大きな影響を及ぼしており、県民生活や地域経済は先の見えない不安と危機の中にあります。現下の感染状況や経済動向等を的確に見極めながら、県民の命と健康を守り、県民生活や地域経済への影響の最小化を図るため、必要な対策に万全を期して参ります。

また、令和元年東日本台風で受けた甚大な被害からの復旧・復興に着実に取り組むとともに、頻発・激甚化する自然災害に備え、災害対応力の更なる強化を図って参ります。

現在、令和3（2021）年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ未来創造プラン（仮称）」の策定を進めております。プランに掲げる本県の目指す将来像「人が育ち、地域が活きる　未来に誇れる元気な〝とちぎ〟」の実現に向け、とちぎの未来を担う人づくり、未来技術を活用した次世代産業の創出・育成、防災・減災対策など、新しいとちぎのかたちを描き、次の世代につなげる取組を積極的に推進して参りたいと考えております。

今年の夏には、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、来年には、本県で第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。これらの成功に向けて、万全の準備を進めて参りますとともに、開催を契機として、本県の魅力・実力を国内外に効果的に発信することにより、栃木県の魅力を広めていただく「栃木ファン」の創出・拡大に努めて参ります。

知事5期目の新たな年を迎えるに当たり、私自らがオールとちぎの先頭に立ち、栃木県の輝く未来の創生に向けて挑戦して参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

（一社）栃木県商工会議所連合会
会長　藤井昌一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明けから中国武漢市を中心とした新型コロナウイルス感染症が日を追って拡大し、3月12日には世界保健機関（WHO）がパンデミック（世界的大流行）を宣言するなど、欧州、米国を含む全世界の国々に感染が広がり、今なお世界的な脅威となっております。

国内においては、政府の緊急事態宣言により全国規模での人の往来の制約やイベント等の自粛など、感染拡大の抑制をより一層強力なものとしましたが、その一方で経済活動をはじめ社会の活力が大幅に減衰し、本県においては、令和元年10月に直撃した台風19号の自然災害に加え、新型コロナウイルスに関連した企業への甚大な影響などにより、県内経済への先行きはさらに不透明感を増してきております。

私は、このようなコロナ禍において企業自らが懸命な努力と創意工夫により、経営や雇用の維持・確保に努めるなど、社会や住民生活の基盤を支える大いなる担い手として、極めて重要な役割を果たしている現状を目の当たりにし、まさに中小・小規模企業が日本経済の根幹であると改めて認識したところであります。

こうした状況下で、当連合会といたしましても、各商工会議所との連携のもと数次にわたり「新型コロナウイルス対策に関連する各種提言要望」を行い、中小企業への緊急支援を関係機関に対し要請して参りました。

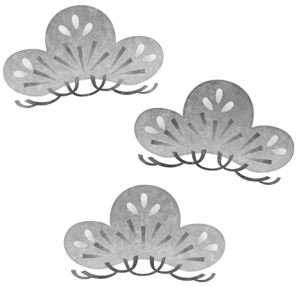
また、昨年9月には小山商工会議所主管のもと、第57回栃木県商工会議所議員大会を開催し、「ONE TEAM ～叡智を結集し〝とちぎ〟の未来を切り開く～」をテーマとし、中小企業の経営力強化のため、中小・小規模企業対策、産業振興策、観光振興策をはじめとする幅広い分野について提言要望を決議するとともに、企業自らが挑戦し全力を尽くしていくことを宣言したところでございます。

本年も、新型コロナウイルスの影響により、中小企業を取り巻く環境は大きく変化していくことが予想されるところではありますが、新たな知恵と工夫の創生により、こ

の厳しい状況を必ずや克服できるものと、私は確信しております。

商工会議所といたしましても、地域とのネットワークとコミュニケーションをさらに強固なものとし、中小・小規模企業に寄り添った経営支援はもとより、地域経済の活性化、そして日本経済の輝かしい未来の実現のため、全力を挙げて取り組んで参る決意でございますので、本年も相変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と企業の御発展、そして令和３年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



令和３年新年のごあいさつ

栃木市長　大川秀子

新年明けましておめでとうございます。

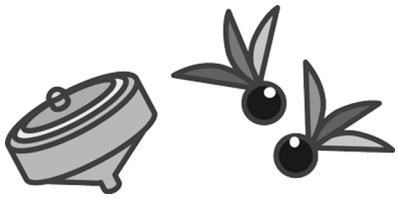
栃木商工会議所会員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、「我慢の年」でありました。本市が大きな被害を受けた令和元年東日本台風による傷跡の癒えぬ中で発生した新型コロナウイルスは、その感染力の強さ、感染による影響の深刻さは、世界的に大きな脅威をもたらしています。未だ予断を許さない厳しい状況において、皆様には、感染拡大防止と地域経済の活性化の両立に向けご苦労の日々を過ごされていることに対しまして、心から敬意を表するとともに、ご理解、ご協力に感謝を申し上げます。

本市では、新型コロナウイルスの影響による売上が減少した事業者の皆様への支援として、市制度融資や利子補給の新設、事業継続緊急支援補助金、店舗等家賃応援補助金の交付、市税や上下水道料金等の減免等の支援のほか、栃木市商工経済団体連絡協議会にご尽力いただいております「２０２０栃木市プレミアム付き商品券（とち介商品券）」の拡充や、飲食店を支援する「飲食店応援ＰＲ事業」、栃木市独自の「カスタマイズ式新型コロナウイルス感染防止対策ポスター」の作成など、地域経済に与える影響を少しでも軽減できるよう取組んでおります。

このような中、本年は東京オリンピック・パラリンピックの開催、そして本市においては、昨年開催が出来なかったとちぎ秋まつりの開催が予定されており、一日も早い新型コロナウイルスの収束を切に願っているところであり、経済回復に向け、商工会議所とより一層強い結束力をもって、この未曽有の危機に立ち向かってまいりたいと存じます。

結びに、会員の皆様には、あらためて市政全般につきましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして新しい年が幸多き年となりますよう御祈念申上げ、新年のごあいさつといたします。



丑年議員さんより新年のご挨拶

丑年生まれの議員さんにご登場頂き、新年のご挨拶を寄稿して頂きました。

金朝商事㈱　取締役会長　茂呂章

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと新年早々新型コロナウイルスが発生して以来、まだ先が見えず、第３波の拡大中であり、わが国の経済状況は、国民の活動自粛もあり、我々栃木市も、飲食・宿泊・サービス・運輸業等々厳しい経営環境におかれています。国・県・市において、ＧｏＴｏトラベル・イートなどの経済のアップのために努力しているところでありますが、その努力がかき消されるように感染が増える結果となりました。しかし、毎日の努力の継続が事業発展にはかかせません。新たなる目標をもって一歩一歩、こつこつと土牛のように汗をたらして頑張るしか道がないのでしょうか？

会員の皆様、各企業のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

ひざつき製菓㈱ 代表取締役
膝附武男

新年あけましておめでとうございます。令和3年丑年の新春を迎えましたこと謹んでお喜び申し上げます。

一昨年の台風19号に続き新型コロナウイルスと、次から次へと耐力を試される困難がやって来てうんざりでありますが、このような時だからこそ普段分かっていてもなかなかできない事業の創造的破壊に挑むことができるチャンスかなとも思います。

また盛り上がりは減ってしまいましたが、半世紀ぶりの国の大イベント「祭り」である東京オリンピックが、少し縮小されてでも無事開催されることを心から祈っています。

私も、いよいよ今年は還暦を迎えます。今まで以上に社業に邁進すると同時に、次世代に向けてのシーズを意識した動きを始めていきたいと考えております。地味に一枚一枚積み上げていく自社の普遍的価値「お客様に美味しく感じていただくこと」を右に、「イノベーションを常とすること」を左に、2つを両輪として業務を執行していく社内文化を醸成させていきたいと思っております。

会員のみなさまにとりまして、新しい年が幸多きそして実りある年になりますことを御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

㈱スクラムフーズ 代表取締役社長
小池雅弘

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、年が明けて間もなく、今を生きる私たちはこれまで経験したことのない緊張に包まれ、刻々と変わる状況と情報に、対応と判断を繰り返す日々は今もなお続いております。

食を通して、心潤う時間をご提供させていただく私共の事業も、「新しい生活様式」をとりいれながら、お客様の癒しの場であることを守るべく、慎重な取り組みを続けております。

自身としましては、昨年父が亡くなり、会社（事業）も原点に立ちかえり、その礎を築き、懸命に仕事に励んできた父から受け継いだたすきを、しっかりと繋いでいく節目の年としていきたいと思います。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。会員の皆様のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ワタレイ㈱ 代表取締役社長
渡邊嘉一

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界的にCOVID－19によるパンデミックとインフォデミックにより、近年にない混迷の一年となりました。人間としてやはり健康が一番であると言うことを改めて認識いたしました。弊社も健康経営に取り組み、二年連続優良法人の認定を取得し、県知事からも優秀賞の表彰をいただきました。

本年は、近年国際的に続いていた対立・分断から、団結・協調へ戻っていくことでしょう。更なる生成発展の道が開かれていく分岐の年になると希望を持ち、実り多き一年となるよう尽くしていきたいと思います。今年も地域の皆様のお役に立てるべく、弊社の経営理念である「信頼のひとづくり、安心の環境づくり、心からの幸せづくり」のために邁進して参ります。

結びに会員の皆様のご多幸と企業様のご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

会員事業所のみなさまへ **『うずま共済』ご加入のおすすめ**

『定期保険（団体型）（入院給付金付災害割増特約・がん重点型生活習慣病一時金特約付）』

◆◆◆　制度の特色　◆◆◆

①業務上・時間外を問わず24時間保障
②入院・通院で見舞金支給
③結婚・出産・成人で祝い金支給
④6大生活習慣病入院一時金
⑤がん入院一時金
⑥がん先進医療一時金
⑦健康増進に役立つ付帯サービス
⑧剰余金があれば加入者に配当金も
⑨1年更新で医師による診査はなし

ぜひこの機会にご加入をお勧めします。

●ご加入にあたっては、パンフレット・重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）を必ずご覧ください。

【問い合わせ先】
管理課業務係
TEL23－3131

【引受保険会社】
アクサ生命保険㈱佐野営業所
栃木分室
TEL23－8934

㈱柏倉温泉太子館　会長

大阿久　岩　人

明けましておめでとうございます。

２０２１年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

今年度、私のスローガンは、「出会いから繋がりへ　みんなで進む　耐える　新時代」とさせていただきました。私自身、栃木商工会議所に入会したことにより多くの方々と出会いそして仲間になることができたと思っております。会議所に入会したからこそ業種も年齢も違う人との出会いがあり、活動を通して繋がりが深まったことが私の財産だと思っております。

私は、人と人との出会いには偶然ではなく必然だと考えており、何かしらの意味があるからこそ人と人は出会うのだと思っております。メンバー同士の繋がりがより深まる、そんな一年にしていきたいと思います。

結びに商工会議所会員様のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

㈱メディカルグリーン　代表取締役

大澤　光　司

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、昨年は何といっても新型コロナウィルスの感染拡大という事で、大変な一年となってしまいました。弊社も薬局部門を中心に３月頃から影響は出始め、４月をピークとして、経営的に大きな打撃を受ける事になりましたが、新型コロナ対策防止の観点で、新たに取り組みました、ベトナム企業と共同開発の「洗って使える布マスク」や、医療用の防護効果の高い「Ｎ95マスク」の市販パッケージを作成して販売した事などにより、何とか乗り切ってきたところです。しかしながら、新型コロナの影響は本年も続くものと思われますので、新たな取り組みも必要と考えております。会員の皆様方には、これからも引き続いてのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。それでは、会員の皆様にとって、新年が素晴らしい年となる事をご祈念して、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。

福富税務会計事務所　所長税理士

福　富　正　浩

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により今まで経験したことのない生活環境におかれ、仕事についても多大なる影響をうけた会員の皆様もいるかと思います。

その中においては一刻も早い収束を願うばかりであります。それまで、うがい手洗いをはじめ自己の免疫を高める方策をとり、健康な身体を目指し日々の生活をしていくことが重要かと思います。

また、コロナ禍の中、心配なのが経済停滞になることだと思います。飲食業・旅行業はじめ、ほとんどの業種がなんらかのマイナス影響があるものと思われます。この中で、如何にすれば経済を活性化できるのかについて知恵を出し、みんなが協力をしてこの時期を一緒に乗り切っていければ幸いです。

その上で、誠に微力ではございますが商工会議所事業につきましても、議員としてより一層の協力ができますよう努めてまいりますので、本年も変わらずのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後となりますが、会員の皆様の益々のご繁栄とご健康を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさていただきます。

㈱アサヒドー　専務取締役

八木原　清　二

新年あけましておめでとうございます。会員事業所の皆様には、新年を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は私にとって議員１年目でした、その中では多くの先輩議員の皆様より、たくさんのことを学ばせていただきましたことを改めまして感謝申し上げます。

さて、昨年は、春先より「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により、社会はこれまでの時代の流れを大きく変える状況となりました。そしてその影響は今だ続いています。新年を迎えるにあたり、本年はこれまで以上に「変化対応」を率先して図れるよう努めていきたいと考えています。その上で、誠に微力ではありますが、議員として商工会議所事業につきましても努めて参りますので、本年も変わらずのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに会員事業者の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

議員職務執行者変更のお知らせ

川嶋幸雄氏

㈱タスクより、職務執行者を川嶋健氏から川嶋幸雄氏とする変更の届け出があり、令和２年11月25日付で受理した。

制度改正に伴う専門家派遣等事業

民法（債権法）改正・働き方改革関連法緊急対応セミナー開催

去る12月８日、当所において、民法(債権法)改正・働き方改革関連法に関するセミナーを開催した。このセミナーは、働き方改革関連法等の労働法制や、約120年ぶりの大改正となった民法の制度変更に、円滑に対応していただくことを目的としたもので、講師に、藤平法律会計事務所 所長 藤平泰典氏を迎え実施した。

セミナーでは、弁護士から見た就業規則として、訴訟リスクに備えた就業規則作成の考え方と、令和２年４月１日に施行された債権関係に関する改正民法等を詳しく解説いただいた。これらは、多くのメディアで取り扱われているほど企業活動にとって大きな問題であるのか等について具体的に説明され、参加された方々からは、よく理解でき、今後に活かしたい等のお声をいただいた。

当所では引き続き、諸制度の改正の際には、すみやかな対応が必要となる中小・小規模事業者の事業活動が、円滑に進められるよう支援してまいりたい。

ＩＣＴ（情報）ツール活用セミナー開催

去る12月10日、当所において、ＩＣＴツール活用セミナーを開催した。今回のセミナーは、「ネットで集客したいがスキルがない」「経費をかけられない」等の理由で、なかなか取組めない事業者でも、すぐに登録でき費用がかからない「Ｇｏｏｇｌｅマイビジネスの活用法」について実施した。

Ｇｏｏｇｌｅマイビジネスは、検索やマップなどのサービスにビジネス(お店)の情報が表示され管理できる他、スマホ検索では、ＨＰより上位検索され、業種を問わず多くの事業者に活用され、効果をあげているツール。受講いただいた方々からは、「このサービスを活用して観光客を増やしたい」「リピーターを増やして売上増加を目指したい」等の声をいただいた。

会員の皆様が、Ｇｏｏｇｌｅマイビジネスを活用して、売上増加と利益の確保により、継続的に発展することを期待する。

農商工連携事業啓発セミナー開催

去る12月17日、当所において、農商工連携事業啓発セミナーを開催した。このセミナーは、農商工連携のノウハウや商品開発のポイントについて理解を深め、事業化を目指すことを目的に開催したもの。講師には、６次産業化中央サポートセンタープランナーの勝瀬典雄氏を迎え、農商工連携事業の必要性や商品開発・マーケティング戦略の考え方などの内容を、会場・Ｚｏｏｍ・録画を含めたハイブリット形式で開催し総勢13名が参加した。

受講いただいた方々からは、「農商工連携を成功させ、栃木市を今よりも元気にさせたい」「充実した参考になる内容だったのでぜひ取り組みたい」等の声をいただいた。

当所は、農商工連携事業や６次産業化の実現を目指す事業者の、計画策定から実行まで様々な支援を行いますので、ぜひご活用いただきたい。

女性経営者交流会開催

去る12月７日、当所において、女性経営者交流会が開催され、会員10名が参加した。

この交流会は、業種・業態の垣根を越え、会員同士が経営や技術等のノウハウを交換し、互いの企業の活性化・経営資源の育成を図ることを目的として行われた。

開会前に、当会オリジナルラジオパーソナリティーを務める吉本興業所属の上原チョー氏をゲストとしてお迎えし、自己紹介とラジオ出演参加へのＰＲがされた。

交流会第１部では参加者より各々の事業所のＰＲが行われ、第２部では班ごとに「女性経営者会活動で望むこと」をテーマに活発な意見交換がされた。

この事業は当会としては初めての試みであり、長期化するコロナ禍において先行き不透明な日々が続く中、検討を重ね実現した。今後も情勢を見極め、感染症対策を十分に取り、新しい様式を取り入れながら活動を続けていく。

企業サポート情報

専門家相談会

◆**金融相談会**
日　時　２月４日(木)
　　10時～正午
場　所　401会議室
相談員　日本政策金融公庫佐野支店
　　国民生活事業

◆**経営相談会**
日　時　２月16日(火)
　　10時～15時
場　所　大会議室
相談員　よろず支援拠点

◆**働き方改革相談会**
日　時　２月17日(水)
　　13時30分～16時
場　所　特別会議室
相談員　働き方改革支援センター

◆**事業承継相談会**
日　時　２月24日(水)
　　10時～15時
場　所　特別会議室
相談員　事業引継ぎ支援センター

◆**復興支援相談会**
日　時　毎週月・金曜日
　　10時～17時
場　所　301会議室
相談員　よろず支援拠点

経営指導員定例相談会

◆**経営なんでも相談**
開催日　毎週月曜日

◆**商工法律相談**
開催日　毎週火曜日

◆**労務雇用相談**
開催日　毎週水曜日

◆**金融まるごと相談**
開催日　毎週木曜日

◆**知的財産権相談**
開催日　毎週金曜日

※いずれも　９時～17時
※場　所　１階事務室

※ご相談には、事前予約のご連絡をお願いいたします。

【予約・問い合わせ】
中小企業相談所
TEL 23-3131

青色決算書・確定申告書作成相談会

当所では、個人事業者で青色申告をされている方の、決算書と確定申告書作成相談会を開催します。

作成の経験が少ない方々のために、派遣税理士に協力いただき、低廉な費用で事務の代行を致しますので、ご希望の方はお申込み下さい。

■**日時**
２月17日（水）
９時～16時

■**場所**
当所会議室

※事前に予約が必要になりますので、ご希望の方は詳細をお問合わせ下さい。

【問い合わせ先】
中小企業相談所
TEL 23-3131

来たけ～見たけ～食ったけ～ 第14回あそ雛まつり

期日：２月25日(木)～３月７日(日)

今年で14回目を迎える栃木のあそ雛まつりは、雛人形の展示と併せ、各種体験型イベントが企画されており、遊べる雛まつりとして開催されます。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントの中止・変更を行う場合がございます。

【問い合わせ先】
栃木市商店会連合会事務局
TEL 23-3131

主な週末のイベント情報

2月28日(日)	おひな様アカデミー
	蔵の街に忍者現る!?
3月6日(土)	流し雛
3月7日(日)	体験教室-あそ雛の館-
	十三参り

働き方の新しいスタイル

この冬の休暇は、まったり、ほっこり、ゆったりと。

～計画的な業務運営や休暇の分散化にも資する
「年次有給休暇の計画的付与制度」の導入を！～

事業主の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策として、新しい生活様式が求められる中、新しい働き方・休み方を実践するためには、計画的な業務運営に資する年次有給休暇の計画的付与制度や、労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に資する時間単位の年次有給休暇制度の導入が効果的です。

また、休暇の分散化が求められているこの冬においては、計画的付与制度は休暇の分散化にもつながります。

詳しくは、栃木労働局雇用環境・均等部(室)にお問い合わせください。

～栃木税務署からのお知らせ～

①令和２年分確定申告会場における感染症対策について

本年の確定申告会場への入場に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策による混雑緩和のため、**「入場整理券」**が必要となります。「入場整理券」の配布状況に応じては、後日の来場をお願いすることもあります。

なお、「入場整理券」につきましては、**当日会場での配布**及び**LINEによる事前発行**を行います。ご来場いただく納税者の皆様には、ご不便をお掛けしますが、ご理解を賜りますようお願いいたします。

※LINEによる事前発行の詳細は、国税局ホームページでご確認ください。

◆　職員によるマスク等の着用とこまめな換気・消毒

職員においては、会場内ではマスク等の着用、こまめな換気・消毒などの対策を徹底しています。また、日頃から手洗い・うがいの徹底や体調がすぐれない場合には相談に従事しないといった対応をいたします。

◆　検温の実施

確定申告会場入場の際に検温を実施しています。37.5度以上の発熱が認められる場合は、原則として入場をお断りさせていただきます。なお、発熱等の症状のある方や体調のすぐれない方は、無理をせず来場を控えてくださいますようお願いいたします。

◆　マスクの着用、アルコール消毒液利用のお願い

ご来場の際は、マスクを着用していただき、入口等でアルコール消毒液をご利用くださいますようお願いいたします。

◆　少人数での来場のお願い

ご来場の際は、できる限り少人数でお越しください。

◆　新型コロナウイルス感染症対策の一環として、本年は、還付申告の方の申告相談を２月15日(月)以前でも受け付けております。※その場合、栃木税務署にお越しください。

②栃木税務署の確定申告会場について

今年度の確定申告会場は「栃木商工会議所大ホール」です。

令和２年分の所得税及び復興特別所得税、贈与税並びに個人事業者の消費税及び地方消費税の申告相談及び申告書の受付を下記のとおり行います。

	税務署による申告相談	税理士会による申告無料相談
会　　場	会　場　「栃木商工会議所大ホール」 所在地　栃木市片柳町２丁目１番４６号	
開設期間	令和３年２月１６日（火）～ 令和３年３月１５日（月）	令和３年２月１６日（火）～ 令和３年３月１１日（木）
受付時間	９：００～１６：００	９：００～１６：００

※ 土・日・祝日は開設しておりません。
※ 開設期間中は栃木税務署庁舎では申告相談を行っておりませんのでご注意ください。
※ 申告会場では現金納付の窓口業務は行いません。
※ 栃木商工会議所への直接のお問合わせはご遠慮ください。
※ 申告会場の駐車場は、混雑が予想されますので、お車でのご来場はなるべくご遠慮ください。

◇国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

【問い合わせ先】　栃木税務署　℡　0282-22-0885(自動音声案内)

トチギデオシゴト！

とちぎで働こう！ポータルサイト『トチオシ！』OPEN！

就職情報を無料で掲載できます。

新卒・中途採用のご検討されている企業を募集いたします。

詳細は、折込チラシをご覧ください。

青年経営者会NEWS

る・じょーむ
Le Jeune homme

●No.347 令和３年１月10日発行　●編集／青年経営者会

新年のごあいさつ

栃木商工会議所
青年経営者会
会　長　若菜　克友

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、栃木商工会議所青年経営者会の諸活動に対し、格別のご高配、ご厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は年初より新型コロナウイルス感染症の感染者が日に日に増し、日本国内のみならず全世界の経済に多大なる影響を及ぼしました。本市においても、令和元年東日本台風の被害が癒えぬ中、コロナ禍により様々な行事が中止となったほか、感染拡大防止に向けた新たな生活様式への対応など変化の激しい環境におかれ、経営環境も日に日に厳しさが増しています。また、私たち事業者においては、コロナ禍に対応した従来の経営手法にとらわれない新たな取組みが必要とされています。

こうした変化が激しく、未だ終焉の見えない状況であっても、地域経済の中心を担っていく青年経済人として、様々な視点で日々学び、日々実践することで一歩一歩前に進んでいきたいと思います。

我々YEG活動に目を向ければ、本年度は栃木商工会議所青年経営者会創立35周年を迎え、「継往開来」～より良き未来を切り拓け～とスローガンを打ち出し、コロナ禍の中、先輩諸兄が築き上げてきた伝統を引き継ぎ、それを発展させながら未来を切り拓いていくことが求められています。こうした中、本年度の各例会の開催に際し、各委員会や役員会における活発な意見交換を通して、最善の形での開催を模索しています。さらに、このような委員会活動や例会を通して、自社の事業に役立て、経営者自身の資質向上を今後とも積極的に進めていき、会員企業の事業発展を目指していく所存です。

なお、本年度は、１月に蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト参加者との意見交換会、臨時総会、２月には創立35周年記念式典・記念事業、３月には新入会員オリエンテーション、卒業式、４月には通常総会を予定しております。青年経営者会は、活動を通して得た経験や知識、人脈を財産に事業の発展にもつながっていく団体であり、より活力ある地域経済社会の実現に向けてともに取り組んでまいりましょう。

結びに、本年も当会の活動に深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様の企業がますます発展されますよう心より御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

女性経営者会NEWS

新年のごあいさつ

栃木商工会議所
女性経営者会
会　長　堀　惠子

新型コロナウイルスの感染拡大を憂いお見舞い申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は栃木商工会議所女性経営者会の活動に対し、ひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年流行した新型コロナウイルスは我が国経済に大きな影響を及ぼしました。皆様もご心配な日々をお過ごしのことと推察いたします。

本年も依然として感染症収束の見通しが立たない状況ではありますが、感染拡大防止に十分留意し、新しい様式を取り入れながら会員同士情報を共有し合い、組織一丸となって精一杯活動してまいりたいと思います。

さて、当会は設立から３年目を迎え、昨年は次のような活動をいたしました。

まず、２月におもてなしの精神を学ぶ講演会を行いました。また、当会活動の更なる活性化の為、全会員を対象としたアンケートの実施や、10月には全商女性連総会への初のリモートによる参加等活動自粛下においても工夫した活動をしてまいりました。さらに12月には「女性経営者交流会」を開催し、業種・業態の垣根を越えた交流により、会員同士の絆をさらに深めることができました。

本年は、栃木市コミュニティーラジオＦＭくららにおいて当会オリジナルラジオ番組を制作し、市民の皆様に当会や当会会員事業所の魅力をより知っていただくべく現在準備を進めております。是非多くの皆様にお聴きいただき、ご意見ご感想などを頂戴したいと思っております。

結びに、この災禍の一日も早い収束を心より願い、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。